



最短合格! 総合対策



ジャパントイムズ & 日本アイアール 編



The Japan Times

はじめに

英検準 2 級では、一次試験は筆記試験とリスニング試験、二次試験は面接において、語句や会話表現の正しい使い方、作文力、読解力、リスニング力、そして英語を使ってコミュニケーションする力と、総合的な英語の力が試されます。こうしたさまざまな問題を攻略するには、それぞれの大問でどんなタイプの問題が出題されるのか出題傾向を知り、個々の問題をどのように解いたらよいかを学び、その出題傾向に即した練習問題を解いておくことが欠かせません。

本書では、英検準 2 級で過去に出題された問題を、一問一問、文字通り徹底分析し、それぞれの大問ごとの攻略法を「出題傾向を知ろう」にまとめ、さらに個々の問題の具体的な解き方を、問題のタイプごとに「解法のポイント」として詳しくまとめました。また、そのポイントを使って実際に問題を解く練習するためのオリジナルの「練習問題」「実践問題」も用意しました。さらに「合格率アップのカギ」では、過去問の分析からはじき出された、問題を解くのに必要なさまざまな頻出情報を紹介しています。リスニングや面接の章では、実際の問題に対応できるよう、音声 CD もつけました。

したがって、本書を隅から隅まで学習すれば、語法問題からリスニングや面接にいたるまで、英検で出題されるさまざまな問題を攻略する総合的な力を確実に身につけることができるのです。

本書を使ってみなさんが合格の栄冠を手になれることを、心よりお祈りしています！

最後に、本書の刊行にあたり、すべての英文に目を通してくださったジュード・ポーজন氏に、深くお礼申し上げます。

目次 CONTENTS

はじめに …… 3 英検について …… 7 英検攻略法 …… 8 本書の構成と使い方 …… 10

筆記

大問 1 語法・文法問題

出題傾向を知ろう …… 18

解法のポイントをおさえよう

ポイント 1 語と語のつながりに注意する …… 22

ポイント 2 原因・理由と結果・結論の関係に注目する …… 24

ポイント 3 言い換えの語句・文に注目する …… 26

ポイント 4 選択肢の単語が難しいと思ったら文脈から判断する …… 28

ポイント 5 動詞の働きをする熟語に注意する …… 30

ポイント 6 副詞・前置詞の働きをする熟語に注意する …… 32

実践問題 …… 34

解法のポイントをおさえよう

ポイント 7 時制の基本をマスターしよう …… 44

ポイント 8 関係代名詞の使い分けをマスターしよう …… 46

ポイント 9 仮定法は動詞の形に注意する …… 48

ポイント 10 前置詞や代名詞に注意する …… 50

ポイント 11 語法問題 …… 52

実践問題 …… 54

大問 2 会話問題

出題傾向を知ろう …… 62

解法のポイントをおさえよう

ポイント 12 問いかけに対する返答を選ぶ …… 66

ポイント 13 問いかけの文を選ぶ …… 68

ポイント 14 直前のセリフに自然につながるセリフを選ぶ …… 70

ポイント15 直後のセリフに自然につながるセリフを選ぶ	72
実践問題	74

大問3 語順整序問題

出題傾向を知ろう	84
解法のポイントをおさえよう	
ポイント16 熟語を見抜く	88
ポイント17 構文を見抜く	90
ポイント18 会話表現を見抜く	92
ポイント19 接続詞を見抜く	94
ポイント20 関係副詞を見抜く	96
実践問題	98

大問4 長文穴埋め問題

出題傾向を知ろう	108
解法のポイントをおさえよう	
ポイント21 語と語のつながりに注目する	111
ポイント22 空欄前後の接続詞や文章の流れを作る語句に注目する	111
ポイント23 空欄の前後で話の流れがどう変わっているかに注目する	111
ポイント24 具体的な事例に注目する	111
実践問題	122

大問5 長文読解問題

出題傾向を知ろう	128
解法のポイントをおさえよう	
ポイント25 質問文中の表現を手がかりにして、 該当箇所を本文中に見つけ出す	131
ポイント26 本文を言い換えた質問や選択肢に注意する	131

ポイント27 質問文に手がかりになる表現が少ない場合は、 選択肢と本文を一つひとつ照合する	131
実践問題	144

リスニング

第1部 対話の応答問題

出題傾向を知ろう	154
解法のポイントをおさえよう	
ポイント28 問いかけに対する返答を選ぶ	158
ポイント29 誘い・依頼・意見を求める文に対する返答を選ぶ	160
ポイント30 対話全体の流れから適切なセリフを選ぶ	162
実践問題	164

第2部 対話の内容一致問題

出題傾向を知ろう	172
解法のポイントをおさえよう	
ポイント31 これから何をするかを問う問題	178
ポイント32 場所や事柄を問う問題	180
ポイント33 何をしているかを問う問題	182
ポイント34 理由などを問う問題	184
実践問題	186

第3部 英文内容一致問題

出題傾向を知ろう	198
解法のポイントをおさえよう	
ポイント35 選択肢が文の形の場合	204
ポイント36 選択肢が動詞の原形あるいは動名詞で始まる場合	206
ポイント37 選択肢がそれ以外の形の場合	208

実践問題	210
------	-----

面接

出題傾向を知ろう	222
----------	-----

解法のポイントをおさえよう

ポイント38 英文の内容に関する質問に答える (No.1)	230
ポイント39 イラスト中の人物の動作を説明する (No.2)	232
ポイント40 イラストに描かれた状況を説明する (No.3)	234
ポイント41 自分の意見を述べる (No.4)	236
ポイント42 好みや希望などを答える (No.5)	238

実践問題	240
------	-----

編集協力	入江 泉
カバー・本文デザイン	清水 裕久 (Pesco Paint)
本文イラスト	奥田 志津男
組版	(株) 創樹
CD ナレーション	Chris Koprowski / Carolyn Miller
CD 収録	ELEC 録音スタジオ

■英検について

文部科学省後援 実用英語技能検定（通称：英検）は、英語の四技能「読む、聞く、話す、書く」を総合的に測定する全国規模の試験です。大学入試や高校入試における優遇や英語科目の単位としての認定を行う学校が年々増え、またアメリカやオーストラリアなどの大学における留学要件と認められるなど、その社会的評価は高まっています。英検を受験する皆さんは、自己の英語能力の評価基準としてばかりでなく、国際化時代を生きる「国際人」たりうる資格として、さらには生涯学習の目標として、英検を大いに活用してください。

■試験概要

(1) 実施機関

試験を実施しているのは、(財) 日本英語検定協会です。ホームページ <http://www.eiken.or.jp/> では、試験に関する情報・優遇校一覧などを公開しています。

(2) 試験日程

試験は年3回行われます（二次試験は3級以上）。

第1回検定	一次試験	6月	二次試験	7月
第2回検定	一次試験	10月	二次試験	11月
第3回検定	一次試験	1月	二次試験	2月

英検攻略法

英検準 2 級とは

英検準 2 級で求められる英語のレベルは、高校中級程度です。「日常生活に必要な英語を理解し、また使用することができる」ことが求められ、

読む 日常生活の話題に関する文章を理解することができる

聞く 日常生活の話題に関する内容を理解することができる

話す 日常生活の話題についてやりとりすることができる

書く 日常生活の話題について書くことができる

の 4 つの領域が審査の対象となります。

試験内容

一次試験

- ・筆記試験 …… 65 分 / 45 問 / 45 点満点
- ・リスニング …… 約 25 分 / 30 問 / 30 点満点

■ 出題形式と配点

大問	形式	問題数	配点
筆記 1	短い英文の空欄に適切な語句を補う (4 択)	20	20
筆記 2	対話文の空欄に適切なセリフ (またはその一部) を補う (4 択)	8	8
筆記 3	文中の 5 つの語句を並び換える (4 択)	5	5
筆記 4	長い英文の空欄に適切な語句を補う (4 択)	5	5
筆記 5	長い文章に関する質問に答える (4 択)	7	7
リスニング 1	対話の最後のセリフに対する適切な応答を選ぶ (3 択)	10	10
リスニング 2	対話に関する質問に答える (4 択)	10	10
リスニング 3	英文に関する質問に答える (4 択)	10	10



筆記 大問 1

語法・文法問題

筆記大問 1

●問題のプロフィール

- ・ **形式** 短い英文の空欄に適切な語句を補う（4 択）
- ・ **問題数** 20 問（筆記 45 問中）
- ・ **配点** 20 点（各 1 点）
- ・ **解答時間** 20 分（目安）

●攻略のための学習法

- 👉 筆記大問 1 では、主に語彙力が試される。語と語のつながりや前後の文脈から、どれが正解か判断しなければならないので、単語や熟語を覚えるときには、単に意味だけでなく、文中でどのように使われるのかを意識しながら例文とともに覚えるようにしよう。
- 👉 文法問題では、形が問われる。現在完了なら〈have + 過去分詞〉、受動態なら〈be 動詞 + 過去分詞〉など、基本形をきちんとマスターしておこう。
- 👉 語法問題を解くには、熟語の知識が必要である。出題されやすいものをおさえておこう。

大問 1 オーバービュー

次の（ ）に入れるのに最も適切なものを 1, 2, 3, 4 の中から一つ選び、その番号を解答用紙の所定欄にマークしなさい。

The street near Douglas's house is so () that trucks aren't able to use it.

- 1 deep 2 narrow 3 bright 4 usual

2008 年度 第 1 回出題

ここが問われる

空欄を含む 2 文程度の短い英文や対話文を読み、文の流れに合う語句を選択肢の中から選ぶ。大きくは単語・熟語の知識を問う問題（ポイント 1～6）と文法・語法の知識を問う問題（ポイント 7～12）とに分けられる。単語・熟語の知識を問う問題では、選択肢に似た意味の語句や比較的難易度の高い語句が並んでいることが多いので、よく出題される語句の意味と用法をきちんと覚えておこう。また、文法・語法の知識を問う問題は、毎回必ず数問ずつ出題される。比較的簡単な問題なので、基本を復習しておき、確実に正解できるようにしよう。

主な出題パターン

• 単語の問題

文脈に合う動詞や形容詞、名詞などを問う問題。通例、大問 1 の前半で 10 問ほど出題される。

• 熟語の問題

文脈に合う熟語を問う問題。後半で 7～8 問ほど出題される。熟語の一部を成す単語が選択肢になっている問題もあるので、空欄の前後と選択肢を見て、熟語の問題であることを見抜くことが大切。

• 文法・語法の問題

大問 1 の終わりのほうで 2、3 問程度出題される。過去に出題された主な文法項目は、時制、関係代名詞、仮定法、代名詞、前置詞などである。語法問題は、文に合った動詞の形を選ばせる問題。p.40～p.41 に過去に出題された語法問題を取り上げたので、確認しておこう。

解き方のステップ

Step 1

選択肢に目を通し、品詞と意味を確認する。

Step 2

問題文を読み、空欄のあたりまできたら、空欄に選択肢を当てはめてみて、自然につながるものはどれか、判断する。

Step 3

空欄の前後からだけでは答えがわからない場合は、英文を最後まで読み、接続詞や場面設定を頼りにきちんと文脈をつかんだうえで、どの選択肢が適切かを判断する。

Step 4

答えを選んだら、念のため英文全体を読み直し、意味が通る文になっているかを確認する。

例題を解いてみよう

- 1 まず選択肢に目を通そう。deep「深い」、narrow「狭い」、bright「明るい」、usual「いつもの」はどれも形容詞だ。
- 2 次に、問題文を見てみよう。文の主語は The street near Douglas's house「ダグラスの家の近くの道」で、is so の後が空欄になっているので、「道」の様子や様態を表す形容詞を問う問題だとわかる。この段階で、2 の narrow か 3 の bright のどちらかに絞ることができる。
- 3 さらに、so ~ that ...「とても～なので…」という構文が見抜ければ、「とても（ ）なので、トラックはその道を利用することができない」という文脈から、2 の narrow を入れるのが適切だと判断できる。

正解 2

訳 ダグラスの家の近くの道はとても狭いので、トラックはその道を利用することができない。

リスニング 第1部

対話の応答問題

リスニング第 1 部

●問題のプロフィール

- ・ 形式 対話の最後のセリフに対する適切な応答を選ぶ (3 択)
- ・ 問題数 10 問 (リスニング 30 問中)
- ・ 配点 10 点 (各 1 点)
- ・ 解答時間 1 問につき約 10 秒 (目安)
- ・ 放送の回数 1 回

●攻略のための学習法

- 👉 リスニング第 1 部では、発話に対する応答力が試される。筆記大問 2 と同様、よく出題される会話表現を対話形式で覚えよう。
- 👉 対話と選択肢は問題用紙に印刷されていない。音声聞いて対話の状況を想像する練習をしておこう。
- 👉 実際の放送の長さやスピードに慣れておくことも大切だ。CD を繰り返し聞こう。また、CD の音声を手本にしてスクリプトを音読する練習は、リスニング力をつけるのに非常に効果的だ。

Track 01

リスニング第 1 部 オーバービュー

対話を聞き、その最後の文に対する応答として最も適切なものを、放送される 1、2、3 の中から一つ選びなさい。

スクリプト

A: Hello. Can I help you?

B: I'd like to buy two tickets to tonight's concert.

A: All right. They're \$50 each. How would you like to pay for them?

1 By credit card.

2 Just two, please.

3 At about 7 o'clock.

2008 年度 第 2 回出題

ここが問われる

リスニング第 1 部は、A → B → A の対話に続けるのにふさわしい B のセリフを選ぶ問題。対話と選択肢は問題用紙に印刷されておらず、1 回しか放送されないので、音声からすばやく話の流れをとらえ、正しい選択肢を選ばなければならない。

対話の速度や文の長さに慣れ、問題を解くリズムを身に付けておこう。また、店やレストラン、電話での対話が多く出題されるので、そこでよく使われる表現を確認しておこう。

主な出題パターン

- 問いかけに対する返答を選ぶ問題
- 誘い・依頼・意見を求める文に対する返答を選ぶ問題
- 対話全体の流れから適切なセリフを選ぶ問題

解き方のポイント

- 最初のAとBのセリフから状況や場面をつかもう。あまり細かいことにこだわらず、だれとだれが、何について話しているかを理解することが大切。特に最初のAのセリフがカギになることが多い。なお、話者は必ず男性、女性一人ずつである。
- Aの2回目のセリフは、問題を解くうえで特に重要。このセリフに対し、どんな返答が求められているのかを判断しよう。
- 3つの選択肢を注意して聞き、対話の流れが通じるのにふさわしい選択肢を選ぶ。
- 解答に確信が持てない場合は、最初に正しいと考えた選択肢にマークしよう。迷いすぎて次の問題を聞き逃さないよう注意する。

例題を解いてみよう

最初のAとBのセリフから、コンサートのチケット売り場での対話だとわかる。続くA(店員)のセリフは、「わかりました。1枚50ドルです。お支払い方法はどのようなさいますか」という問いかけの文になっている。How(どのように)という手段を問う質問に対する返答として適当なのは、1の「クレジットカードで」である。

正解 1**スクリプトの訳**

A: こんにちは。お伺いします。

B: 今夜のコンサートのチケットを2枚欲しいのですが。

A: わかりました。1枚50ドルです。お支払い方法はどのようなさいますか。

- 1 クレジットカードで。
- 2 2枚だけください。
- 3 7時ごろです。